

日本光電の地域貢献

地域社会の一員として、文化や慣習を尊重した積極的な地域貢献を通じて、良き企業市民を目指しています。

地域社会貢献

■ ウクライナ情勢を受けた支援

ウクライナにおける人道的危機で被害を受けた方々およびその周辺地域に避難された方々等を支援するため、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) と国連児童基金 (UNICEF) に対して義援金合計3,000万円 (約220千ユーロ) を2022年3月に寄附し、UNICEF から感謝状が贈られました。

また、6月には駐日ウクライナ大使館からの依頼を受け、日本光電ヨーロッパ (有) を通じて、生体情報モニタや人工呼吸器をウクライナの医療機関に寄贈しました。

寄贈した医療機器：生体情報モニタ 20台

人工呼吸器 10台



国連児童基金 (UNICEF) から授与された感謝状

日本光電グループは、今後も医療機器メーカーとして、グループ一丸となって、必要な支援・協力を行うとともに、医療従事者の皆様、患者さんの支援に最善を尽くしていきます。



2022年7月までにウクライナの5つの医療機関に8台の生体情報モニタを設置。残りの生体情報モニタおよび人工呼吸器も各医療機関に順次設置される予定。

■ AEDを使用した迅速な救命活動により、人命を救助

2021年7月に、日本光電の静岡事業所に勤務する社員3名が、当社製のAEDを使用して人命救助を行い、消防署から感謝状が贈られました。

3名は、「落ち着いて行動すれば蘇生するはずと信じていた」「国内で唯一のAEDメーカーの社員として、人命救助のお手伝いできた」「目の前でAEDを使用し、AEDの凄さを改めて実感した。当社のAEDで救命に成功できてよかった」と話しています。

今回、AEDを設置している事業所前で倒れられたことから、AEDへのアクセスが良かったこと、3名が迅速に対応したことが救命につながりました。

日本光電では、迅速な救命活動が行えるよう、全社員が心肺蘇生とAEDの講習会を受講しています。また、国内約100ヵ所の全事業所にAEDを設置し、近隣住民の皆様への安全・安心の提供に努めています。今後も、命に関わる医療機器を扱うメーカーとして、心肺蘇生とAEDの普及を推進し、救命率の向上を目指します。



静岡市消防局千代田消防署長からの表彰

